

インクルーシブ教育とは…?

○インクルーシブ教育の説明

国籍や人種、言語、性差、経済状況、宗教、障害のあるなしにかかわらず、すべての子どもが同じ場で共に学び、共に育つことを通し、お互いを理解し、尊重しあう共生社会の実現を目指す教育のことです。

このクラスではいろいろな配慮が…。

大きい音があると集中しにくいんだ。
にぎやかなときだけイヤーマフを使うよ。

発言の前は緊張して喉がかわ
いちゃうんだ。これで安心!
頑張るぞ!

体を動かしながら授業を受け
たほうが学習しやすいんだ!



ノートはタブレットを使って
記録するよ。

この感覚があると
落ち着くんだよ。

みんなと一緒に学べるって
楽しいな!

○一緒に学ぶための工夫や手立てなど、様々な支援者が助け合い、学びあう過程もインクルーシブ教育と言えます。

まずは…

お互いの**違い**を知る



インクルーシブ教育へ

私は音楽が好きなんだ! 僕は走ることが大好き! 本をずっと読めるよ!
大きい音に驚いちゃうな。走ると息が苦しいな。文字がたくさんあると読みにくいなど

足柄小学校の取り組み

誰もが分かりやすくなるために こんな掲示がありました！
足柄小学校のキャラクター「ほかちゃん・いきちゃん・どんちゃん」が紹介します！



① ついつい大きい声になってしまう子や、発表するとき
に恥ずかしくて大きい声が出せない子にとっての目安
になるね！



(活用場面)

ペアで話し合いをする時や、授業で発表する時に掲示
を確認します。

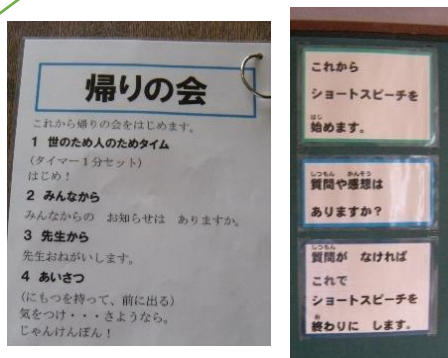
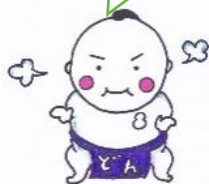
② 姿勢を保つことや切り替えが苦手な子にとっての
合言葉だね！注意をされるのではなく自分で見て意
識して直せるね！



(活用場面)

授業が始まる前のとき、終わるときの挨拶の時や、話
を聞く時などに確認しています。

③ みんなの前で話すのってとても緊張するよね。でも、
これがあるとなんて言えばよいのかが分かって安心だ
ね！

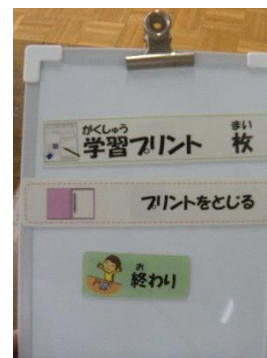


(活用場面)

朝の会、帰りの会、何かの会を進めるときの司会者に
なる子への支援として活用しています。

「フレンド」でのショートスピーチを発表する場面で、
発表の支援として提示しています。

④ その時間に何をするのか不安な子にとってやるこ
とや終わりが分かるととても安心するよね！



(活用場面)

あしがら級で個別学習をする際に、一人一人の課
題を提示しています。その子によって学習する内
容が違っているので、その時間に自分のやることとして確認
できるようにしています。